

開拓使十^當等出仕下川自厚以治七年七月電信機
建設出張中膠振國北田郡^(土庫平)新宮、於于勢常也
官金六百九拾四圓拾錢被盜取逃退同出及、自
一時出逃先、於于勢常不^レ要、支金ヲ盜マ^ル者
律條分百七条凡垣牆内、在^ル木石等ヲ盜ミ主
守覺察、失ス^ル者、照依ニ懲役二十ハ公衆
刑に賤罰、依リ候罪金以^テ四年八月廿八日

北幌本原に於て受託此所を至前書被盜金
迄被目達無之と、向高使損失金、此立
之案此股上申也

明治九年十月十三日 閣振長官黑田清隆

大政長三條實美殿

上申之趣聞置候事

右ノ旨ナク

明治九年十月十八日

大政長
三條
實美
印

進退伺

私儀

山城内郡黒岩におき室蘭港と電信建築
御用より出張此郡に於てかり滞留中当月
廿六日預相存候官舎に百九拾四圓余盜に遭
被傷別銭より此處より上取及始末何共在
思ふ此儀より進退を伺也

電信街
十五號五樓

下川自厚印

開拓大判官杉本高殿

一時出張先ニ於テ携帶スル處ノ官金ヲ盜ル者律例
第百七條凡垣牆内ニ在ル木石等ヲ盜ミ主守覺察
ニ失スル者ニ照依シ懲役二十日公罪判贖例ニ依リ

贖罪金貳圓

明治八年五月廿八日

乙卯九月

雇外國人解約之儀上申

當使雇普通學教師米人
山井リム、アル、エウイン
儀本月十三日雇満期ニ付
解約在案此股

上申候也

明治九年十月十一日

開拓長官黑田清隆

太政大臣三條實義殿

弘治
 乙未
 年
 十
 月
 十
 日